

日本同盟基督教団「教会と国家」委員会主催
2013年2・11信教の自由セミナー

関東地区集会

～天皇の代替わりを
見据えて～

2013年2月11日(月・休)
14:00～16:00



にしかわ しげのり

西川重則氏

【プロフィール】

1927年生まれ

「靖国神社国営化反対福音主義キリスト者の集い」代表、「キリスト者遺族の会」実行委員長、「政教分離の侵害を監視する全国会議」事務局長、「平和遺族会全国連絡会」代表、「NCC靖国神社問題委員会」委員、「戦没者追悼平和記念館」問題連絡協議会代表、「戦争被害調査会法を実現する市民会議」共同代表、「重慶大爆撃の被害者と連帯する会・東京」事務局長、憲法連続講座講師

著書

『「昭和館」ものがたり』、『「新遊就館」ものがたり』、『主の「正義」と今日の日本』、『平和を創り出すために』、『わたしたちの憲法 前文から第103条まで』(いのちのことば社)

『靖国法案の五年』『靖国法案の展望』(すぐ書房)

『天皇の神社 靖国』、『有事法制下の靖国神社』(梨の木舎)

『宗教弾圧を語る』(岩波新書・共著)他

※当日は、席上献金があります。

※お問い合わせは 047-445-6535

(馬込沢キリスト教会 山本)まで。

憲法改悪に道を開く 憲法審査会を考える

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」 マタイ5:9

「正義を洪水のように
恵みの業を大河のように
尽きることなく流れさせよ。」 アモス5:24

【講師からの一言】

「主にあつて、歴史に学び、今を生きる」。ひとりのキリスト者としての私の祈りの課題です。

日本のキリスト者は少数ですが、想像以上に大きな責任を担っています。少数だからこそ、具体的に責任と課題が多くなることを祈りに覚えています。

運動も多種多様ですが、責任ある立場にあつて、主にあつて、歴史に学び、今日を生きることが祈りの問題であり、休むことのない主の日の礼拝と祈禱会において、日本のため、アジアのため、世界のため、学ぶべきこと、祈るべきことを心に刻み、励んでいる私です。

<2・11>集会で、「天皇の代替わりを見据えて」私たちが何をなすべきかを共に学びたいと願っています。戦後67年から68年にあつて、日本はどんな状況になっているのでしょうか。

どんな状況であっても、日本が長期にわたつて、アジアに対して侵略と加害の歴史をくり返したこと、今もなお清算されていないこと、より率直に言えば、再び戦争に道を開くことがあり得ることを心から憂えている私です。

最後に、それ故にこそ、国家に対する教会の責任の大きさを強調しておきたいと思っています。

「戦争は国会から始まる」

「憲法改悪不可避の憲法審査会 NO！」

「不断の警告は自由への道」

主にあつてキリスト者として歴史に学び、共に今を生きることを願っている私のモットーです。共に励みましょう。

会場： 世田谷中央教会

安藤能成師
衛藤愛希師

東京都世田谷区桜新町1-14-22

電話:03-3428-2388

* 田園都市線「桜新町駅」下車徒歩3分

